

例会報告：2011年9月6日（曇） 第1718回例会

❖ ビジター

松本 俊輔 様 (小田原RC)  
井島 誠行 様 (小田原中RC)  
加藤 和男 様 (二宮RC)

❖ 本人誕生日

土岐 博也さん (9月11日)  
中村 維孝さん (9月11日)

❖ ニコニコ箱

須賀 俊和 委員

	9月6日分	累計	目標
ニコニコ箱	27,000	314,000	1,500,000

\* ビジター

松本 俊介様 (小田原RC)・・・お世話になります。よろしく  
お願い致します。

井島 誠行様 (小田原中RC)・・・何年かぶりにおつかいがいい  
たしました。よろしく申し上げます。

加藤 和男様 (二宮RC)・・・お世話になります。

\* 本人誕生日

中村 維孝さん・・・誕生日のお祝いありがとうございます。  
9月11日何かおきない事を願っています。

\* その他

河野 秀雄さん・・・1. 露木順一さん卓話お世話になります。  
御自愛の上益々の活躍を目的成就の為頑張ってください。

2. 9月は入会月です。1986年(昭和61年)入会で25年に成りま  
す。今後もお世話に成りたいと思っています。

木村 啓滋さん・・・露木様、本日の卓話よろしくお願いたし  
ます。楽しみにしています。

金山 慶昭さん・・・露木さん、本日の卓話宜しくお願ひ致しま  
す。

本多 純二さん・・・9月8日が入会記念日です。昭和62年に入  
会して何年になったか？今後ともよろしくお願ひします。

露木 清勝さん・・・寄木細工の若手グループ雑木囃子が日本の  
若きクリエイター6組の一つに選ばれ、フランスのパリで9月9日  
から開催される国際見本市メゾン・エ・オブジェに招待されまし  
た。今朝の朝日新聞に掲載されましたので。

大谷 宏さん・・・このたびの台風12号で被災された、また亡  
くなられた三重県はじめ阪神の方々のご冥福をお祈り申し上げま  
す。まったく津波の被害と一緒にですね。災害列島の宿命です。

小嶋 章司さん・・・ベネファクターになろうと思うのですが、  
現在1ドル78円で1,000ドル78,000円ですが、守屋ロータリー  
財団増進委員長今後もっと円高になりますかね？ちょっとセコイ  
かな？

【小田原城北ロータリー・クラブ】

事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会会場：小田原卸センター内会議室  
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30  
クラブ会報委員会 編集長：金山慶昭 監修：井上 寛 コピーライター：大川 誠 デザイン：小林和彦 フィールド：須藤公司

会員数：52名

■ ■ ■ メーキャップ情報 ■ ■ ■

-2011年9月-

- ▶ 14日(水) 小田原北 報徳会館 12:30 (KF:米山奨学)
- ▶ 15日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶ 16日(金) 湯河原 12:30 ニューウエルシティ湯河原  
足柄 おんりーゆー 12:30
- ▶ 18日(日) 小田原城北RAC 8:30 小田原駅西口集合  
「400回記念移動例会/ディズニーランドへ行こう」
- ▶ 19日(月) 小田原 振替休日休会
- ▶ 20日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
- ▶ 21日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶ 22日(木) 小田原中 報徳会館 12:30 (KF:R財団/米奨)
- ▶ 23日(金) 湯河原 休日休会  
足柄 休日休会
- ▶ 26日(月) 小田原 報徳会館 12:30 (KF:職業奉仕)
- ▶ 27日(火) 箱根 夜間例会 M.U.受付なし
- ▶ 28日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶ 29日(木) 小田原中 報徳会館 17:30 (通常例会)
- ▶ 30日(金) 湯河原 移動例会 M.U.受付なし  
足柄 夜間例会 M.U.受付なし

❖ 次週、新世代フォーラムに向けて

9月20日の新世代フォー  
ラムは、地区の方針を参考  
に3月11日の大震災で被害  
を受けた地域で親や保護  
者を失った子供達の支援  
についてのフォーラムを  
開催いたします。



小田原青年会議所OBで新  
会員の土田君に被災地の状況を説明してもらい、それに対し  
てチャリティー募集方法の意見交換をして行きます。是非皆  
様のご意見をお聞かせください。

新世代育成委員会 委員長  
鈕持 悟



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2011-2012  
WEEKLY BULLETIN



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

【R. I. 会長】  
カルヤン・パネルジー  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
森 洋  
【第9グループガバナー補佐】  
橋本 禎雄



【会 長】杉崎 勝成  
【副会長】杉山 市好  
【幹 事】辻村 彰秀  
【副幹事】柳井 渉  
【会場監督】村瀬 雅實

REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

楽しく学ぼう、奉仕の為に

本日の例会：通常例会（第1719回）

会場：小田原卸センター内会議室  
日時：2011年9月13日 12:30～13:30  
司会：柳井 渉 副幹事

12:30	開会点鐘：杉崎 勝成 会長 ローターソング斉唱 「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 食事 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	【卓話 (RC)】 担当：執行部 クラブ協議会：ガバナー公式訪問2週間前
13:30	閉会点鐘：杉崎 勝成 会長

ロータリー情報

新世代奉仕について (2)

「ローターアクトの現状」

ローターアクトは、18歳から30歳までの青年男女のための、  
ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは  
通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリー・  
クラブが提唱しています。ローターアクト・クラブは、提唱ロータ  
リー・クラブの真の「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族  
の重要な一員です。

2780地区のローターアクトは、残念ながら現在は、相模原・横  
須賀・鎌倉・小田原の4クラブです。一時期は大学を含め約20クラ  
ブありました。

今、地区では、アクトを提唱していないロータリー・クラブに対  
して、アクトをより深く理解して戴くように、活動しています。そ  
して多くのロータリー・クラブがアクトを提唱して下さるように、  
努力をしております。

そして、インターアクト・クラブからローターアクト・クラブそし  
てロータリー・クラブへ。この流れを作る為、もっとも大事な役割  
をになっていると思います。諸外国、特に南米では、ローターアク  
ターからロータリアンになる比率が高いそうです。我々ロータリア  
ンが、今日の若い人を、明日の地域社会の指導者として育てていけ  
たらと思います。

9月10日は「アクトの日」です。ローターアクト・クラブの全国統  
一事業を行うことを最終目的とし、「各地区で同じ日、同じ時間に  
何かをやろう」として

設定されました。これを受けて日本国内では、ローターアクトのアク  
トの「ク」と「ト」にちなんで、9月10日を「アクトの日」とし  
ています。

今年は、小田原で清掃活動が行われました。

地区ローターアクト副委員長  
久保田知子

【今後の例会・卓話スケジュール】

9月20日 通常例会(RC) 12:30  
担当:新世代奉仕委員会  
「新世代フォーラム」

9月27日 通常例会(RC) 12:30  
担当:執行部  
ガバナー公式訪問:RI2780地区ガバナー森 洋 様

10月4日 通常例会(RC) 12:30  
担当:中野 明会員  
卓話:程彩霞 様(米山奨学生)

「私のめざす人生」

10月11日 夜間例会(RC) 17:30(予定)  
担当:執行部  
会場:報徳会館

# 例会報告：2011年9月6日（曇） 第1718回例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ◆ 会長挨拶

杉崎 勝成 会長



皆さん今日は先週末から今週に向けて台風12号による災害が、四国和歌山等、関西方面で大きな被害が出ており、日本列島全体が災害に包まれているような感じが致します、又政治も発足まじか、結果がまだ出ていない中、ネガティブに陥りがちですが、ロータリアンはしっかりと将来を見据え、元気で行動したいと思います。

本日の卓話は前開成町町長の露木順一様です。テーマは「小田原の再生に向けて早雲と尊徳に学ぶ」の話です、どうぞ宜しくお願い致します。

さて、9月は新世代の為の月間です。今年度から奉仕部門が4大奉仕から5大奉仕に成り新世代が新たに奉仕部門になりました。改めて新世代奉仕に関するプロジェクトをご紹介させて頂きます。新世代プロジェクトは4分野に分かれています。

まず新世代、とは年齢30歳までの若い人々全てを含む新世代の多様なニーズを認識し、彼らのより良い未来を確かなものにする為に新世代の生活能力を高める事により、新世代に将来への準備をさせる事はロータリアン1人1人の責務である。すべてのクラブと地域は、健康、人間的価値、教育、自己開発といった新世代の基本的なニーズを支えるプロジェクトに取り組むよう奨励されている（ロータリー章典40.050より）

1つ目は、インターアクト  
1962年に理事会で採択されたプログラムで、14歳から18歳までの青少年の為のRIの奉仕クラブです。ロータリークラブが提唱しています。主に学校が主体となります。

2つ目は、ローターアクトです  
1968年に理事会で承認されたプログラムで、18歳から30歳までの青年男女の為のRIの奉仕クラブです。ローターアクトクラブには、地域社会を基盤とするものと、大学を基盤とするものがあり、ロータリークラブが提唱をしています。

3つ目は、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RIRA）  
RIRAは、1971年度に理事会で採択されたプログラムで、インターアクト、ローターアクター、ロータリアン、及び一般の青少年の指導力を開発するためのものです。

4つ目は、青少年交換  
このプログラムは、1974年に理事会で採択されたプログラムで、海外の人々と交流し、異文化を体験し、外国の生活のあらゆる側面を直接学ぶ機会を青少年に提供しています。長

期交換プログラム、短期交換プログラム、新世代交換プログラムに分かれています。

RI会長カルヤン・パネルジーも申しています。私たちは、過去、現在、未来のロータリー家族に責任があり、私たちの世代のロータリアンが最後ではなく、未来の有能で情熱をもった若い世代を見出さなければならぬ、と申しております。本日は以上です。

## ◆ 幹事報告

辻村 彰秀 幹事



\*10月の卓話予定、会長幹事会の報告がされました  
\*9月27日がガバナー公式訪問の進行が審議され承認されました。例会の1時間延長も承認されました。  
\*8月の納涼例会の決算が承認されました。  
\*渡部会員より提出された出席義務規定免除の件について承認されました。  
\*10月11日の夜間例会（お月見例会）は報徳二宮神社にて開催されます。詳細は後で配布いたします。

## ◆ 出席報告

大木 清 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月30日	52(49)	39	0	79.59%
8月30日	52(49)	37	2	79.59%
8月23日	52(49)	42	1	87.75%

【欠席者】 12名  
大木 清、小林 和彦、杉本 博愛、石橋 徹、石内 正彦、所 真人、三宅 常公、内山 修一、白井 忠、土岐 博也  
【今回MU】 0名  
無し  
【前回MU】 計0名  
増減なし  
【前々回MU】 1名増→計1名  
志澤 昌彦（足柄RC 9/2）

**RAC**  
会員募集中  
相応しい会員をご紹介ください！

## ◆ 卓話

おだわらの再生に向けて ～早雲と尊徳に学ぶ～  
前開成町長 露木 順一様



小田原駅前において街頭演説などをさせて頂いておりますが、15年前と今では明らかに人が少なくなっております。県西部地域2市8町での本当の意味での中核は小田原ですので、もう少し小田原に頑張っていたきたいな、是非それを側面から支援していきたいものだと思っております。大きな話になりますが、日本中今は良い話がありません。しかしこれは日本だけの事ではありません。私が思う所これは、明治維新以降日本はヨーロッパ、その後はアメリカに学んできました。日本は原理原則の部分を取り入れて、それを日本風にアレンジしさまざまな制度を入れてきました。その様々な制度の一番のポイントは国家の仕組みも学んで、その後突っ走ってきたらいつの間にか経済は世界で第2位になった所までは良かったのですが、土地の高騰を招いたバブルになり、良い面もあるのですが悪い面もあり、特に悪い面はバブルの後始末が急速に土地の価格を冷え込ませてしまったために不良債権が積み重なりデフレの傾向へと転換をしていってしまいました。そこで他で学ぶ所がないかと探していたら、最近では逆に世界が日本を学んでしまっており、世界中が日本現象になってしまっているのが実態なのです。そうすると日本は学ぶ所がなくなっているのです。そうするとどこを学べば良いのかとなると、日本の歴史に何か手掛かりがあるのではないかというのが私の考えです。そうすると誰に学んだら良いのかと思った時にこの身近に二宮尊徳先生と北条早雲の2人が私の関心の中に入ってきました。二宮尊徳さんは御存じの通り郷土の偉人です。二宮尊徳さんは道家のイメージがありますが、業績をみるとと経済家であったと思います。二宮さんの思想の根本にあるのは、無駄使いを無くす為にはある程度度をわきまえ、背伸びをしすぎてはいけません。そうすれば必ず利潤がたまる。たまった利潤は基金に積み、積み上がったならば本当に苦しい時に無担保、無利息で貸せ、そこで設備投資をして、苦しい時には経済の循環をおこせ。というのが基本的な二宮さんの発想です。こういう発想こそが現代に必要なと思います。それは公共が歯車を回さなくてはなりません。そこにはリスクはつきものですが必ずプラスを生ずるというのは開成町町長時代に身をもって経験をしたので、二宮さんの無担保・無利息で思い切った設備投資をするという江戸時代末期で行った手法を体現してやらなくてはならないのは公共にあるというのがまず1点二宮さんの教えからあるのではないかと思います。



もう1人、北条早雲及びそれを引き継いだ4人の子孫達の100年位ですが、この時代は小田原が京都と並び称されるもっとも繁栄した100年間でした。なぜこのような繁栄した都市に育てあげられたかということ、まず一つに政治の安定（支持の高さ）です。どうやって北条早雲は民衆の支持を高めたかということ、減税から入りました。大体50%以上が年貢として納められていた時代に10%減

税しました。そして減税すると同時に設備投資をして井細田から小田原にかけて小田原城にして大小田原を建てました。そしてその中に様々な一流の文化人や一流の芸術家などを住ませました。産業と文化のレベルを上げ、京都からどどん小田原へ一流の文化人や芸術家、職人達が移り住むようになりました。さらに北条時代のすごいのは世界に目が向いていました。そうなることから何を読み取るのかということ、小田原はもっと世界に目を向けなければなりません。5本も鉄道が入っており、箱根もあり、それを生かさなくてはならないと思います。今小田原が求めている様々な再生策を打ち上げる時に私は一番役に立つのは、北条早雲の世界に目を向けた思想の中でまちづくりを考える、そして歴史と文化を生かす、それだけの景観を造り上げる。そういう構想を打ち立てていくべきだと思っております。その後、どのようにやっていけばよという時に二宮尊徳さんのまねをすれば良いのです。二宮尊徳さんの都市計画のやりかたは時間をかけてやっていくのが二宮さんのやり方です。でも最初の一手は誰かがリスクをとらなければなりません。この所が今日小田原で一番のポイントになってくるんじゃないかと思っております。先ほどから申しているように最初の一手は公共がとらなければなりません、リスクはあるでしょう、反対もあるでしょう。しかしそれを乗り越えて歯車を回さない限り、地下街の問題とか小田原駅周辺の開発の問題は決着しないでしょう。ここは一発リスクをとるかどうかが非常にポイントではないかと思っております。小田原が歯車が回りだせば箱根と連携をした国際的な観光都市の中心である小田原という位置づけの中で地域再生のモデル都市としての小田原ということで、国のモデル事業としての位置づけというのも十二分過ぎる位の可能な小田原だと思っております。

## ◆ アクトの日・小田原清掃活動

地区RACは、アクトの日を「地域貢献」や「アクトのPR」を目標に掲げ、毎年清掃活動を続けています。今年も順番で小田原城北RACがホストクラブになりました。



当日の清掃地域は小田原駅周辺で、集合場所である二宮金次郎像前には、9時頃からアクターやロータリアン約30名が集結し、10時からの開会式の後、駅周辺を3箇所に分かれて約1時間ほどの清掃活動を行いました。午前中にも関わらず厳しい残暑の中、我がクラブ会員以外にも地区新世代奉仕武功委員長（秦野中）、RAC出身の地区ローターアクト久保田英男委員長（鎌倉）と横須賀RC八巻敏博幹事、秦野RC高橋泉会長らもご参加をいただきました。開始前の予測に反しバス停や公園など人が集まる場所にゴミが多く見られ、その清掃の様子は多くの市民の目に触れたことでしょうか。PR面では2社のタウン誌に取材をしていただきましたが、開会式に市長にも来ていた



たくさんの方の工夫が欲しかったと感じました。ご参加の皆さまお疲れ様でした。